

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 感情を持つロボットの開発に向けた情動反応モデルの構築

2. 個人研究者名

日永田 智絵（奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 助教）

3. 事後評価結果

本研究課題は、感情を得るためには臓器などによる身体感覚の存在が重要であるという点に着目し、五感のうち特に視覚と聴覚刺激に対する身体反応の計算モデルの構築を行うことで、「感情を持つロボット」の一助とすることを目的としている。30名程度を対象とした実データをもとにモデルが開発されており、当初の目的をおおむね達成できている。

また、研究を行う上で領域関係の研究者との議論も積極的に行い、今後の研究の方向性としてロボットなどの人工エージェントに必要とされる生命活動とはどうあるべきかなど、新たな研究の方向性を切り拓こうとする発想の柔軟さも持ち合わせている。社会への発信という点からも特集号を組んだりメディアで研究が取り上げられたりしていることから、今後の研究の展開が期待される。